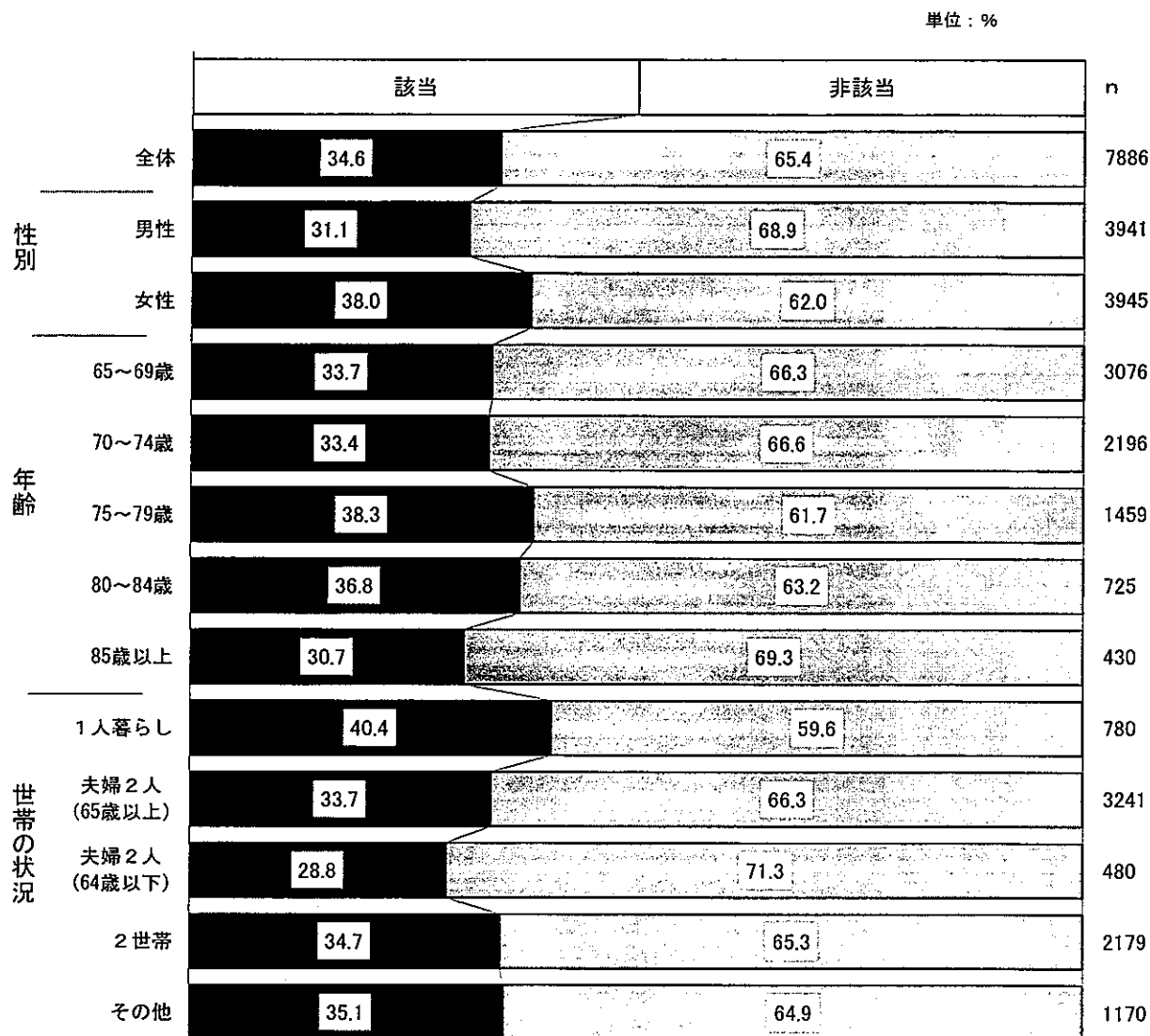


(7) うつリスク

◆回答者全体と主な属性別の判定結果



うつリスクについては、「該当」となったのは全体の34.6%です。

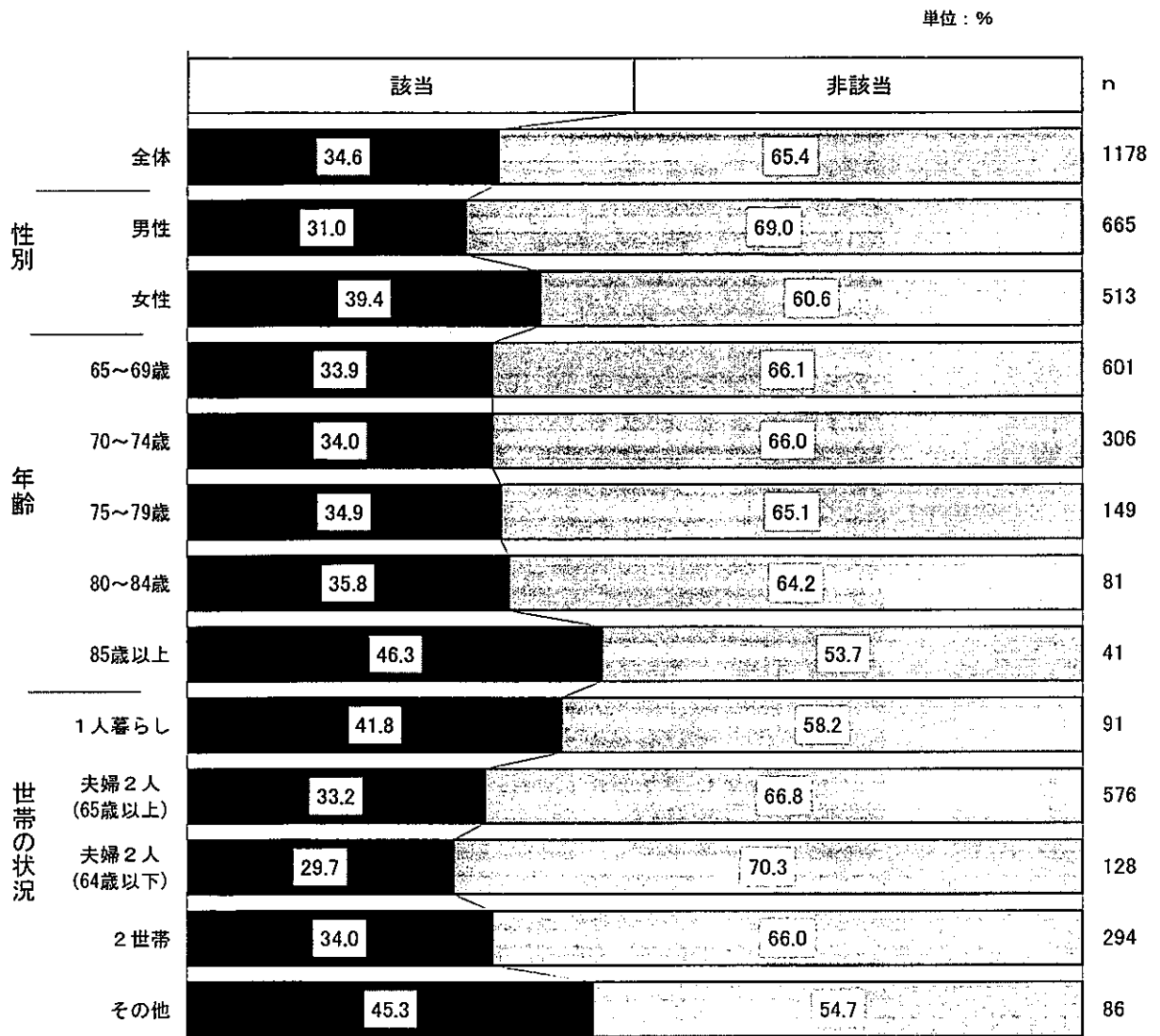
性別で見ると、女性が男性を6.9ポイント上回っています。

年齢では大きな差は見られません。

世帯の状況で見ると、ひとり暮らしは40.4%で全体に比べ5.8ポイント高くなっています。一方、夫婦2人（配偶者64歳以下）は28.8%で全体に比べ5.8ポイント低くなっています。

◇各日常生活圏域別の全体と主な属性別の判定結果

①みずき野地区

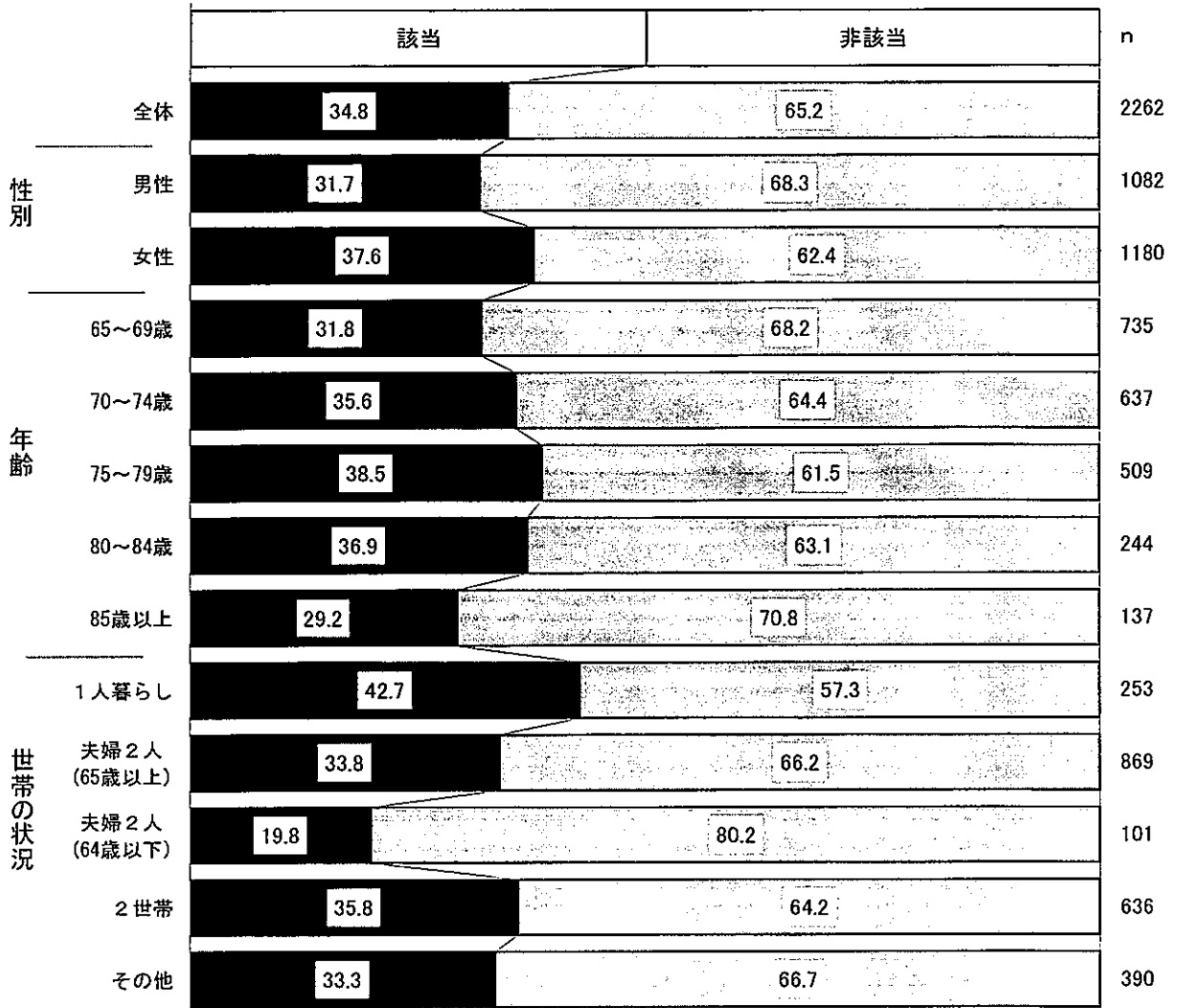


みずき野地区全体では、「該当」の人が 34.6%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では、85歳以上では市と比べ 15.6 ポイント高くなっています。

②守谷地区

単位：%

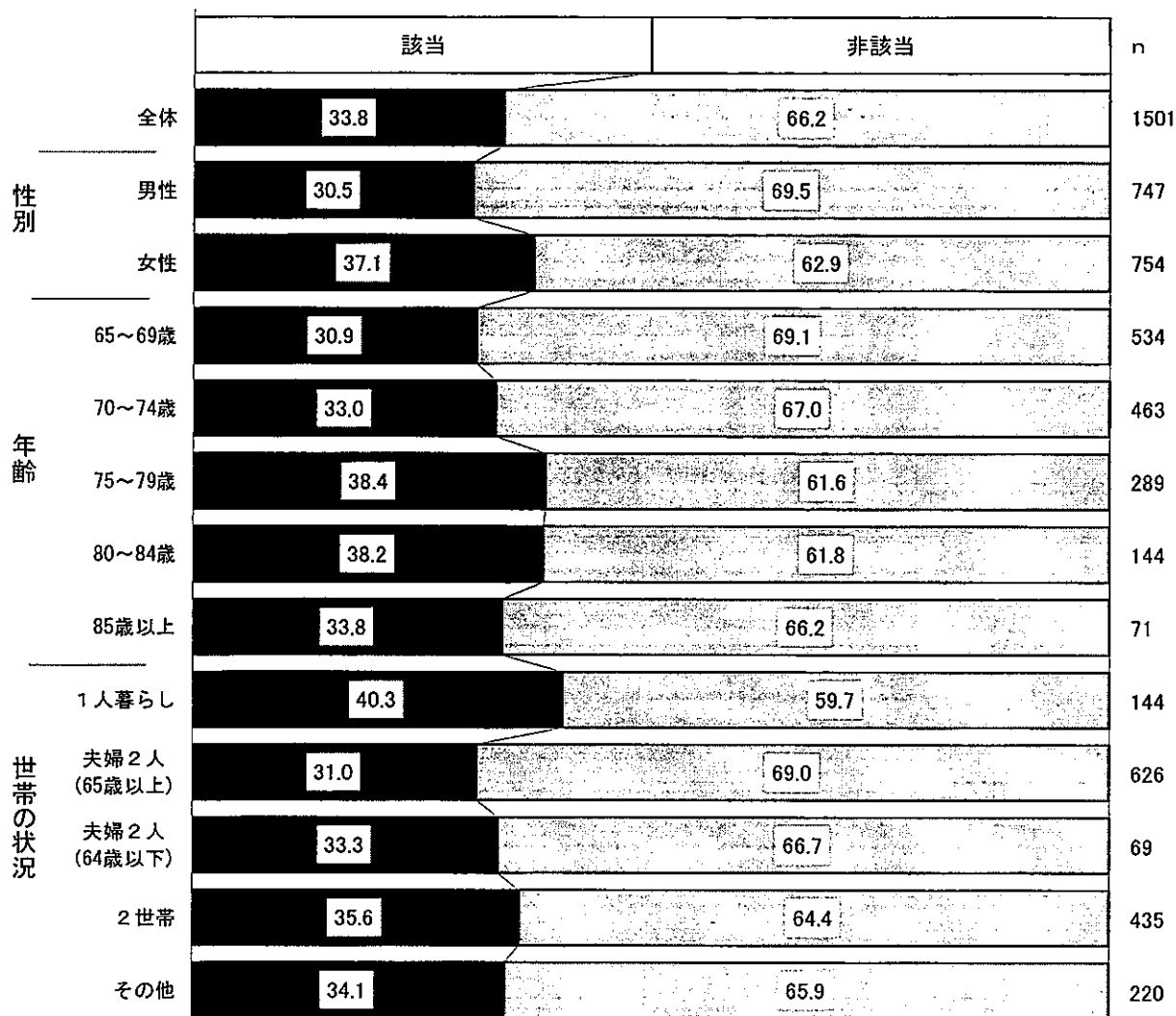


守谷地区全体では、「該当」の人が34.8%となっています。

各属性ごとに見ると、世帯の状況では、夫婦2人（配偶者64歳以下）では市と比べ8.9ポイント低くなっています。

③高野地区

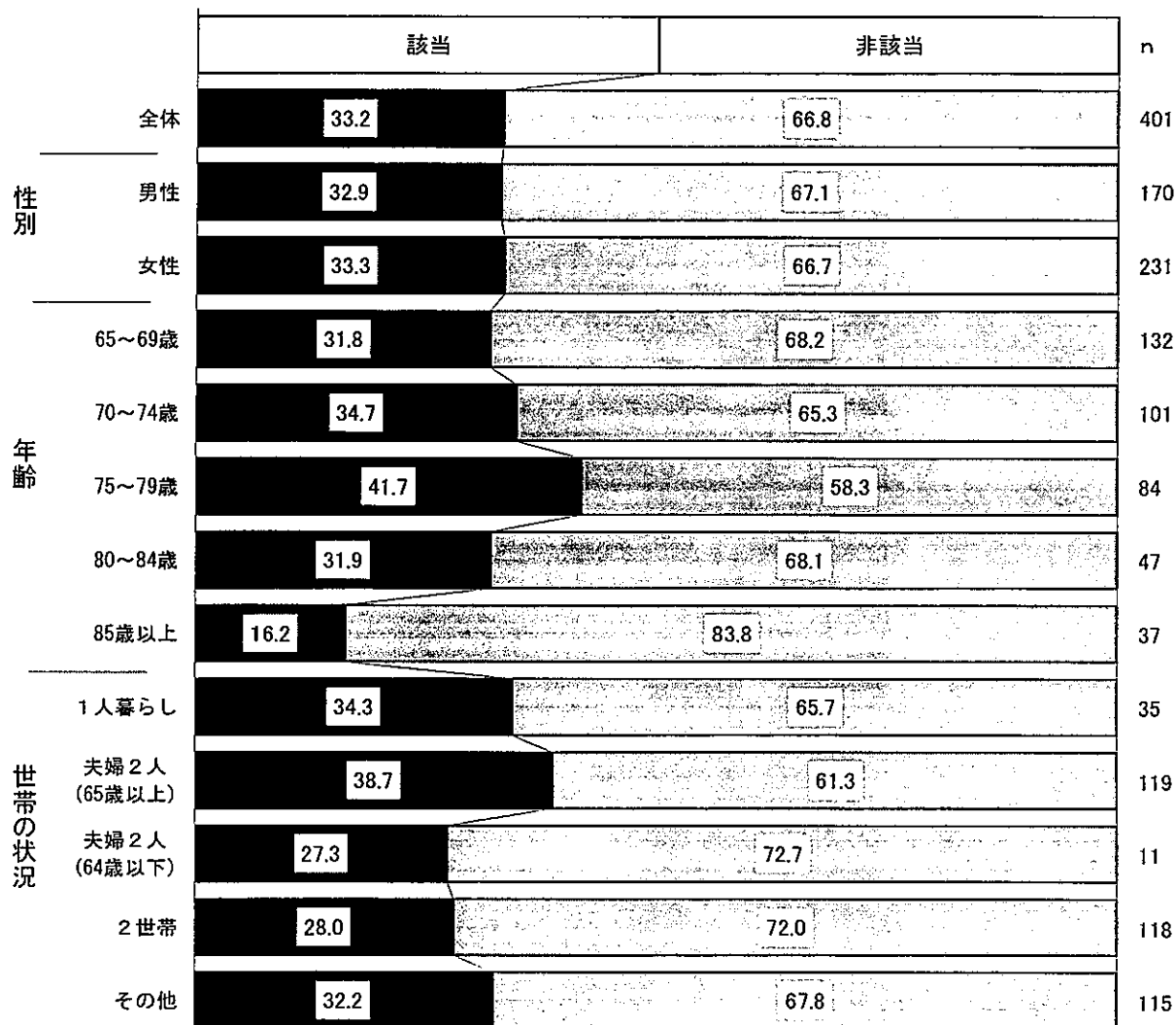
単位：%



高野地区全体では、「該当」の人が 33.8% となっています。
各属性ごとに見ると、どの属性も市の結果と近い値となっています。

④大野地区

単位：%



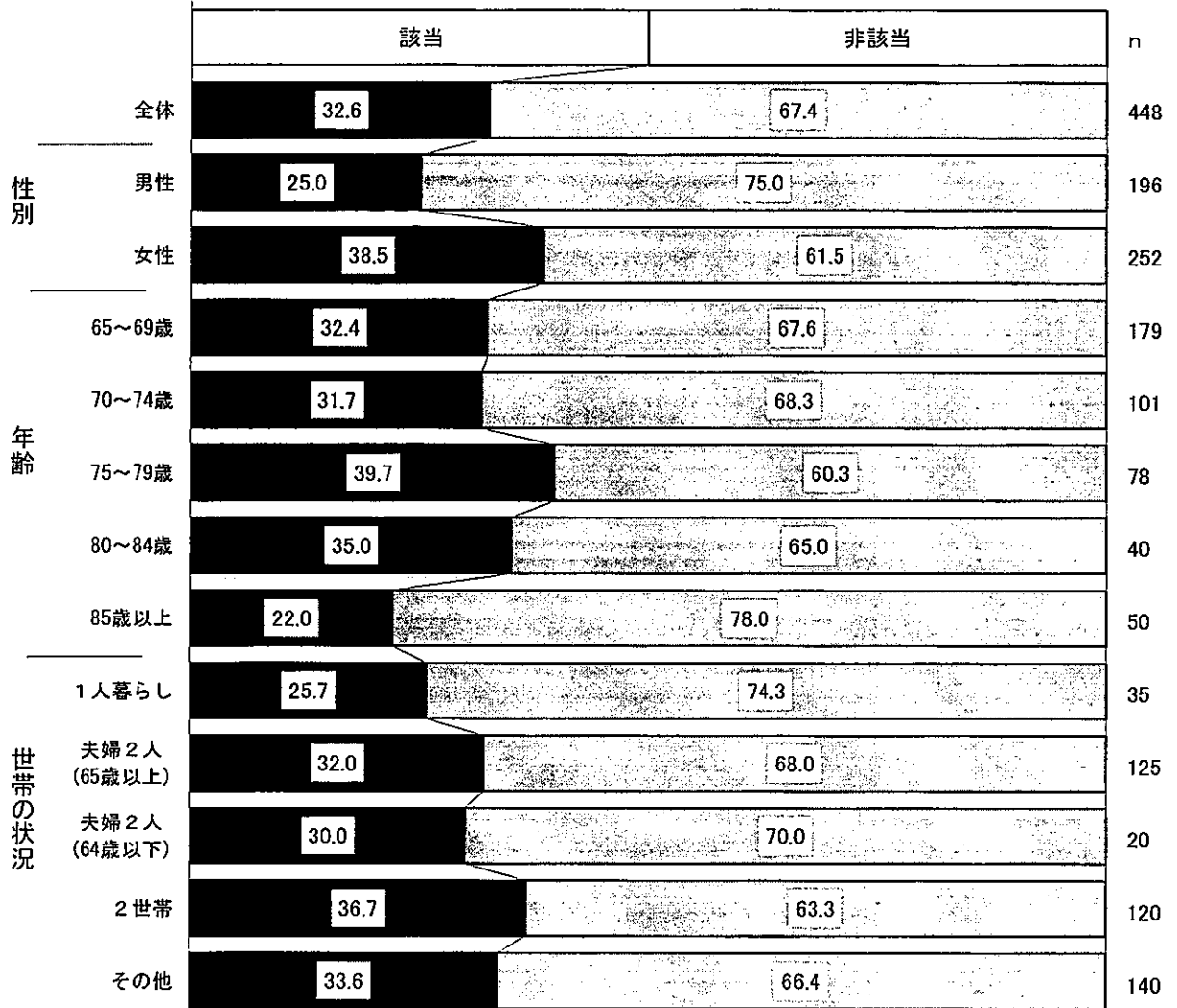
大野地区全体では、「該当」の人が33.2%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では85歳以上で市と比べ14.5ポイント低くなっています。

世帯の状況では、夫婦2人（配偶者65歳以上）では5.0ポイント高くなっている一方、1人暮らしでは市と比べ6.1ポイント、2世帯では6.7ポイント、それぞれ低くなっています。

⑤大井沢地区

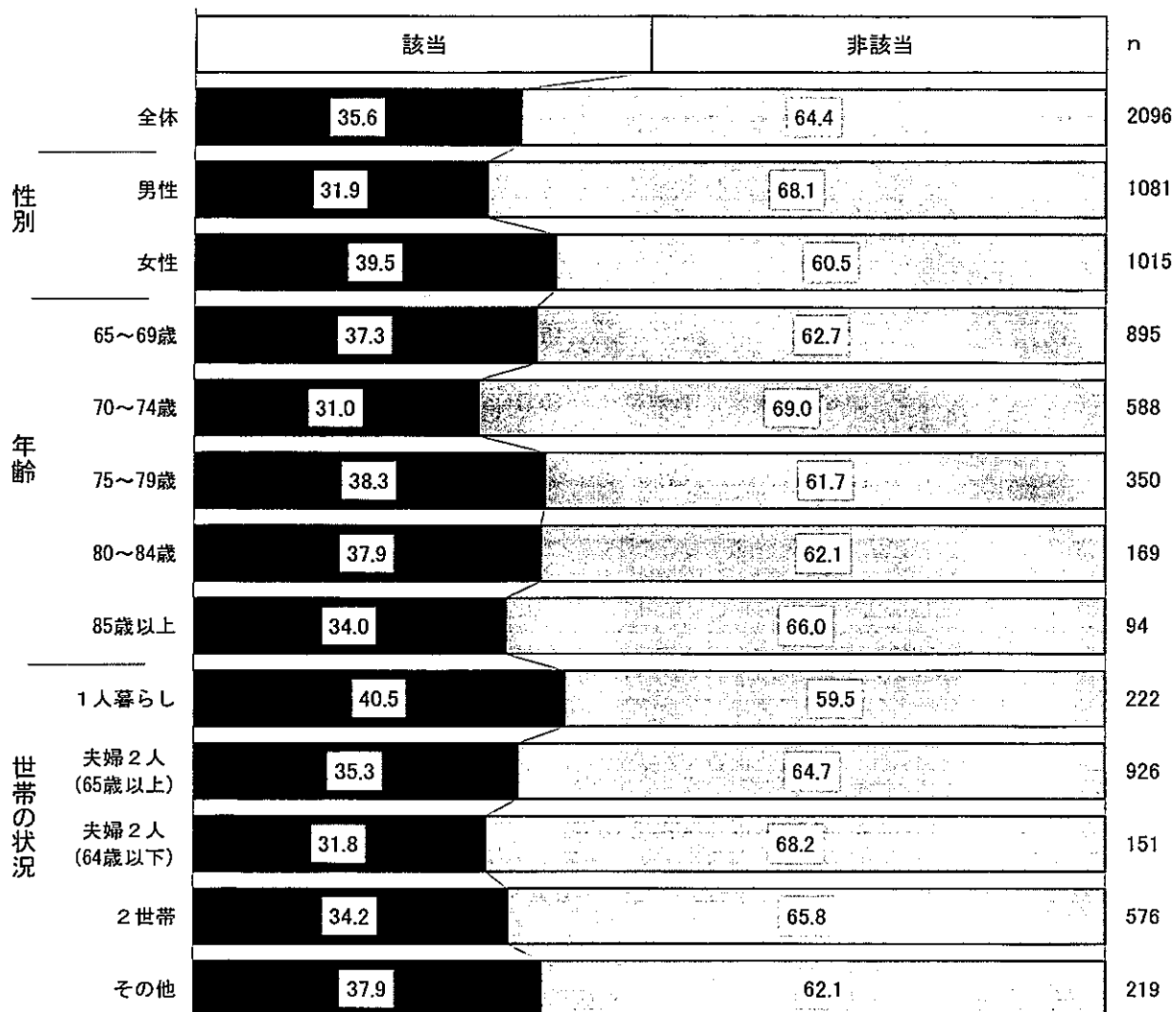
単位：%



大井沢地区全体では、「該当」の人が 32.6% となっています。
 各属性ごとに見ると、性別では男性が市と比べ 6.1 ポイント低くなっています。
 年齢では、85 歳以上が市と比べ 8.7 ポイント低くなっています。
 世帯の状況では、1 人暮らしが市と比べ 14.7 ポイント低くなっています。

⑥北守谷地区

単位：%



北守谷地区全体では、「該当」の人が35.6%となっています。
各属性ごとに見ると、どの属性も市の結果と近い値となっています。

(8) 各地区のリスクの状況

◇各リスクにおける各地区該当者の割合と全体該当者の割合の差

	①運動 機能	②口腔 機能	③低栄 養	④生活 機能	⑤閉じ こもり	⑥物忘 れ	⑦うつ
みずき 野地区	-4.1	-2.4	0.0	-3.0	-1.5	-1.7	0.0
守谷 地区	2.1	0.8	-0.1	1.7	0.9	0.8	0.2
高野 地区	-1.5	0.3	0.2	-0.4	-0.1	-2.4	-0.7
大野 地区	6.7	2.9	-0.1	1.4	1.4	-1.9	-1.4
大井沢 地区	8.3	1.7	0.1	3.9	3.3	2.6	-2.0
北守谷 地区	-1.9	-0.7	0.0	-0.9	-1.0	1.6	1.0
最 高 地 区 と 最 低 地 区 の 差	10.2	5.3	0.3	6.9	4.8	5.0	3.0

(単位：ポイント)

各地区のリスクの全体との差を見ると、5.0ポイント以上の大きな差がある項目については、運動機能における、大野地区と大井沢地区となっています。

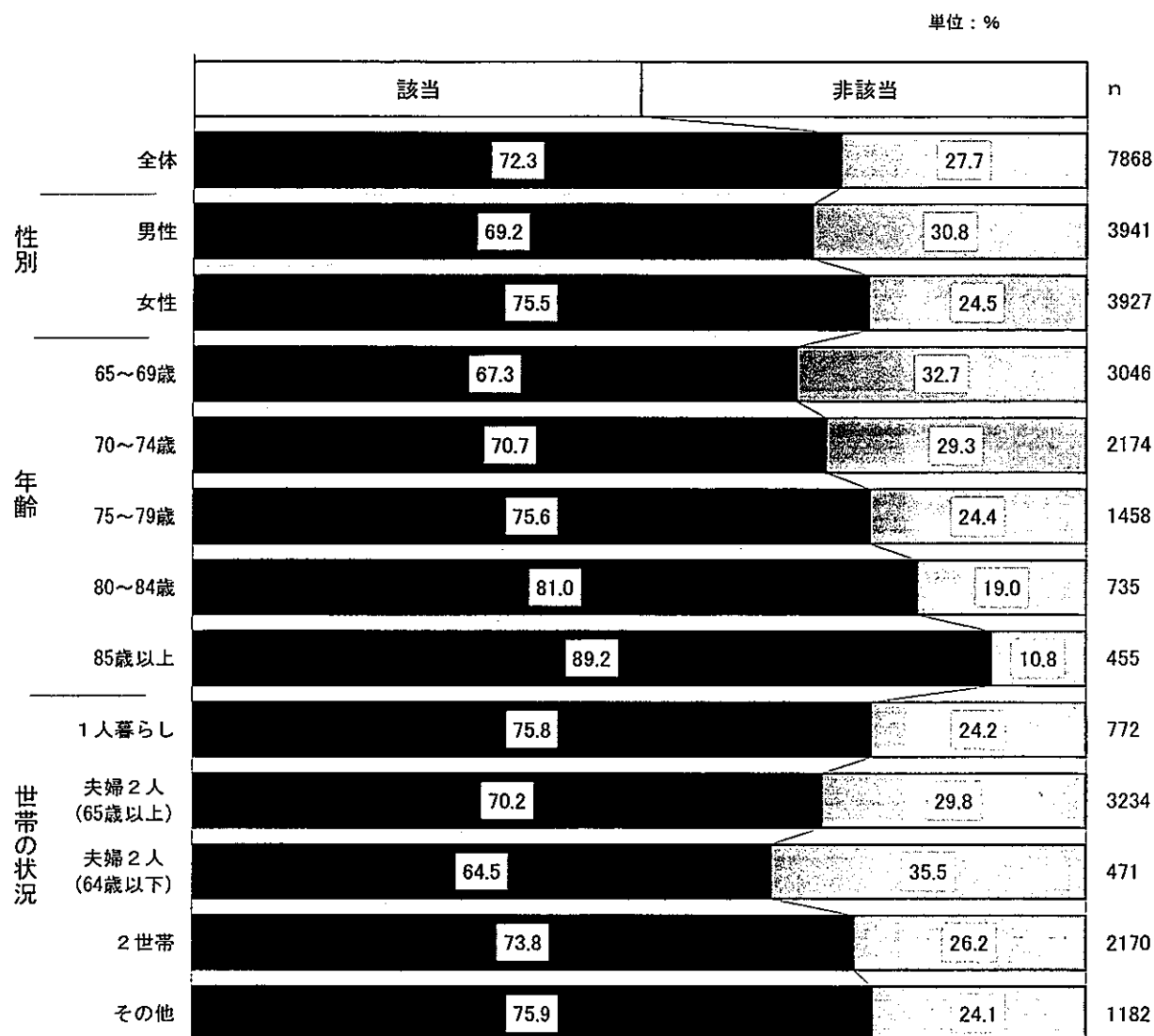
また、地区と全体の差において、その差の幅が最も大きい、つまり、地区ごとに差異がみられるものは運動機能の10.2ポイントです。次いで、生活機能で6.9ポイントとなっています。一方、低栄養については、リスクの該当者自体が極めて少なかったことから地区間の差はほとんど見られません。

地区ごとの主な傾向は次の通りとなっています。

- みずき野地区…いずれも全体以下。中でも運動、生活、口腔は最も低い。
- 守谷地区…6項目で市全体を上回るが、いずれも2.1ポイント以内。
- 高野地区…5項目で市全体を下回る。物忘れで最も低い。
- 大野地区…4項目が市全体を上回る。口腔は最も高い、運動も2番目に高い。
- 大井沢地区…6項目で市全体を上回る。運動、閉じこもり、物忘れが最も高い。
- 北守谷地区…4項目で市全体を下回るが、いずれも1.9ポイント以内。

3. 二次予防事業対象者の判定

(1) 回答者全体と主な属性別の判定結果



これまでに述べてきた7つのリスクについて、1項目でも該当する人を二次予防対象者として判定した場合、市全体ではこれに該当する人は72.3%となっています。

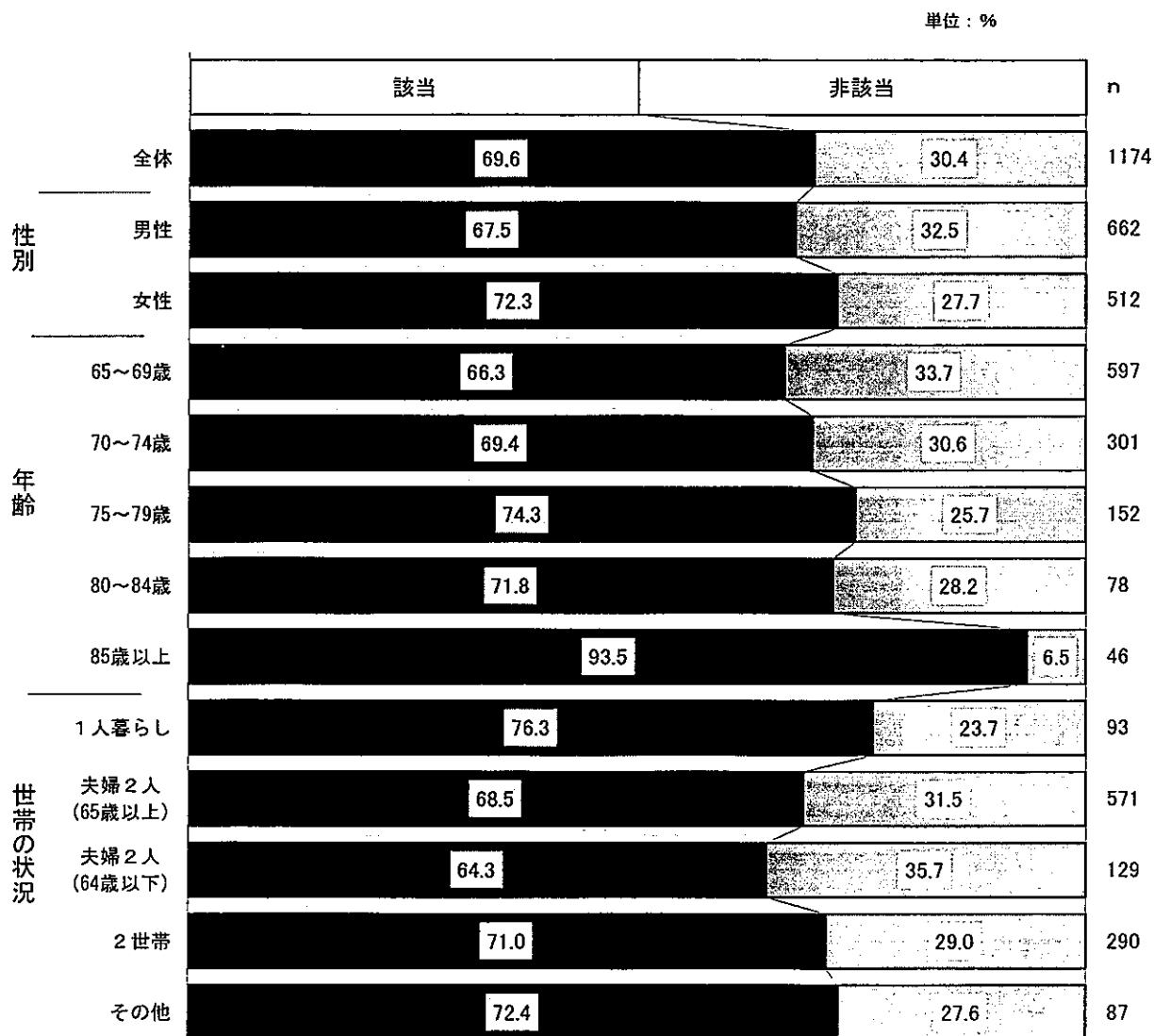
性別で見ると、女性が男性を5.7ポイント上回っています。

年齢で見ると、年代が上がるにつれて該当する人の割合が増加する傾向が見られ、85歳以上では、89.2%となっています。

世帯の状況では、夫婦2人（配偶者64歳以下）で、64.5%と全体より低くなっています。

(2) 各日常生活圏域別の全体と主な属性別の判定結果

①みずき野地区

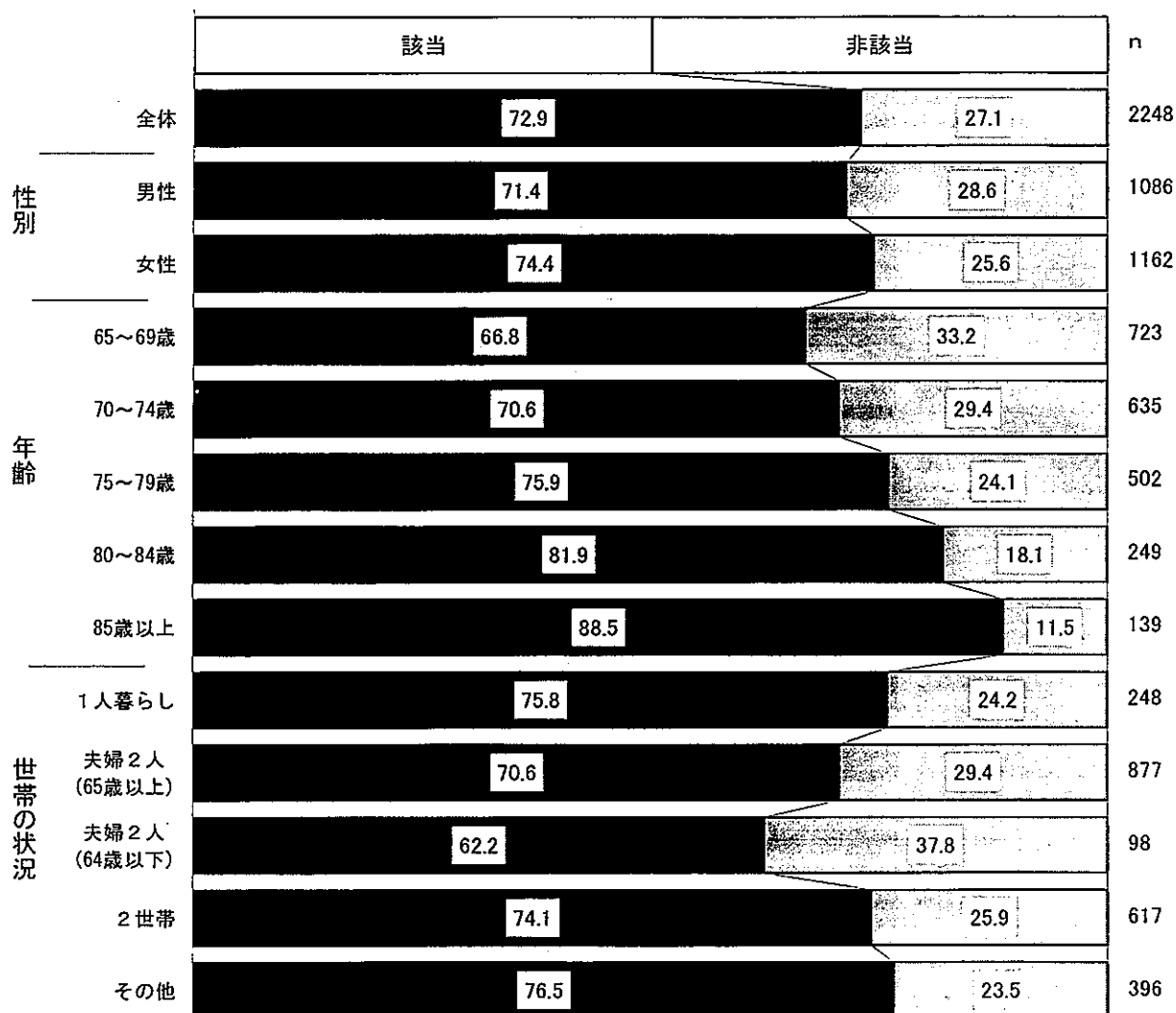


みずき野地区全体では、「該当」の人が69.6%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では、80～84歳以上では市と比べ9.2ポイント低くなっています。

②守谷地区

単位：%



守谷地区全体では、「該当」の人が72.9%となっています。
各属性ごとに見ると、どの属性も市の結果と近い値となっています。

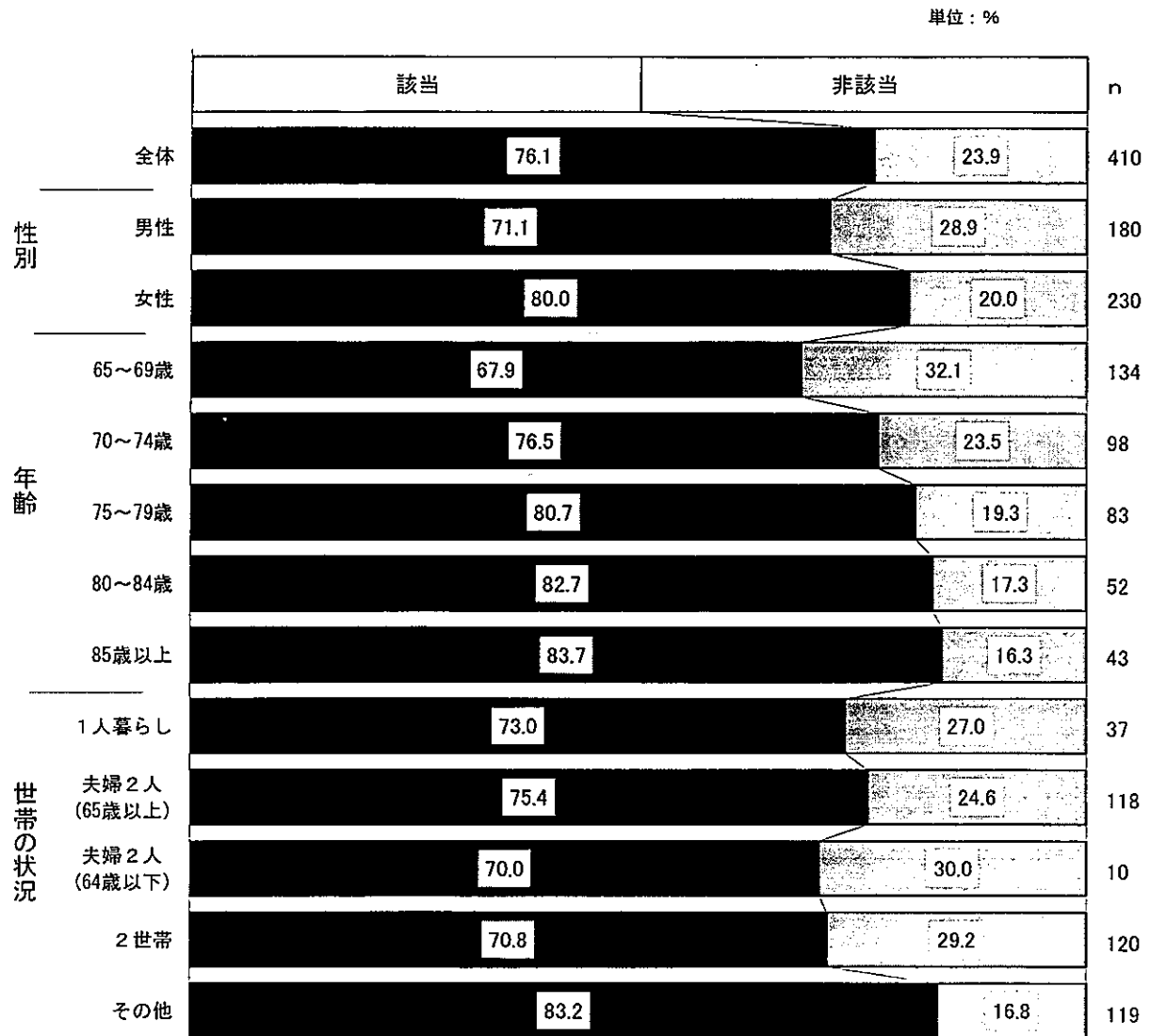
③高野地区

単位：%

		該当	非該当	n
性別	全体	71.1	28.9	1497
	男性	67.5	32.5	738
	女性	74.6	25.4	759
年齢	65～69歳	67.2	32.8	528
	70～74歳	67.6	32.4	460
	75～79歳	73.7	26.3	293
	80～84歳	83.0	17.0	141
	85歳以上	86.7	13.3	75
世帯の状況	1人暮らし	74.0	26.0	146
	夫婦2人 (65歳以上)	68.0	32.0	613
	夫婦2人 (64歳以下)	68.2	31.8	66
	2世帯	74.2	25.8	445
	その他	72.1	27.9	222

高野地区全体では、「該当」の人が71.1%となっています。
各属性ごとに見ると、どの属性も市の結果と近い値となっています。

④大野地区



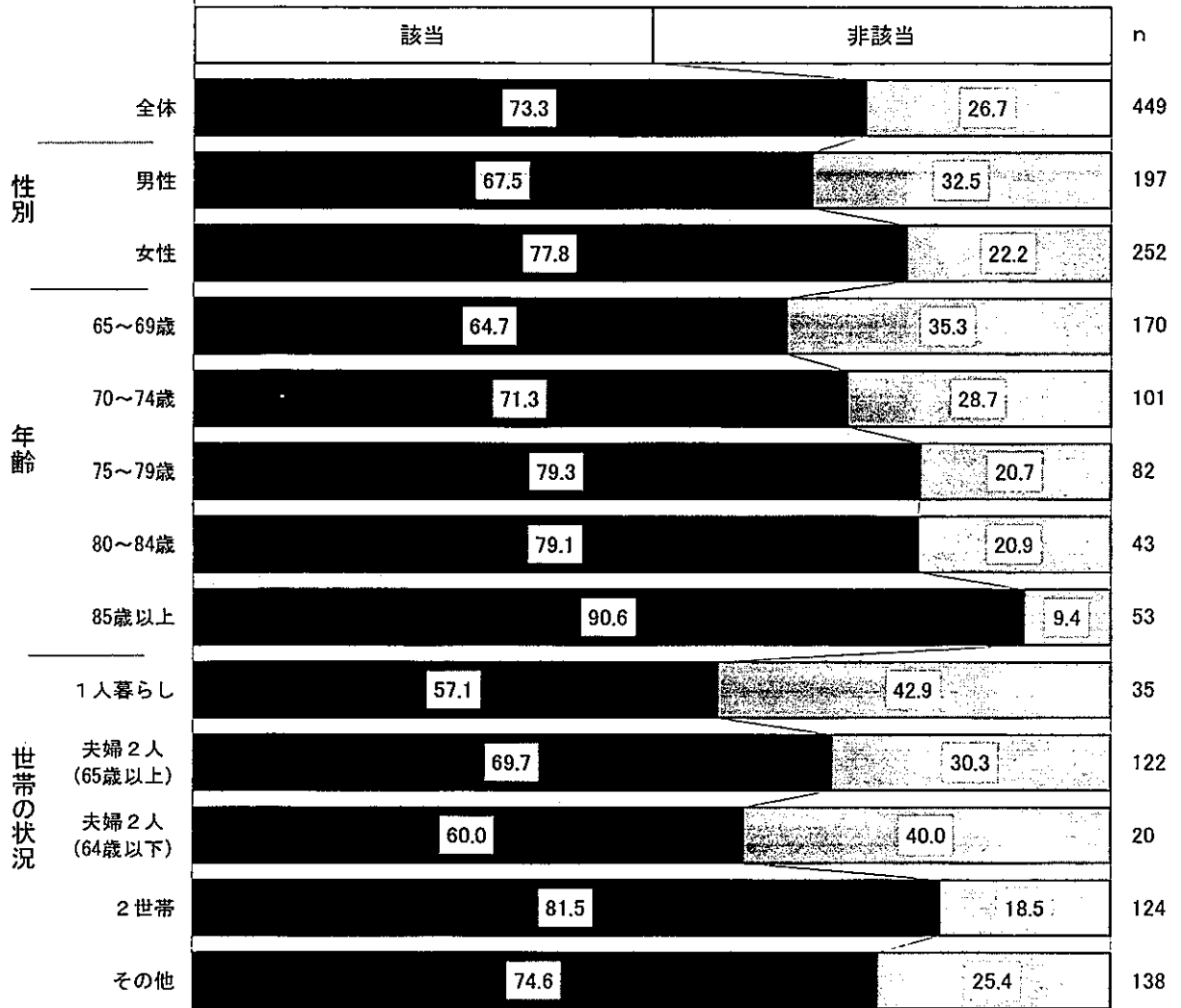
大野地区全体では、「該当」の人が76.1%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では70～74歳で市と比べ5.8ポイント、75～79歳で5.1ポイントそれぞれ高くなっている一方、85歳以上では市と比べ、5.5ポイント低くなっています。

世帯の状況では、夫婦2人（配偶者65歳以上）で市と比べ5.2ポイント、夫婦2人（配偶者64歳以下）で5.5ポイント、それぞれ高くなっています。

⑤大井沢地区

単位：%

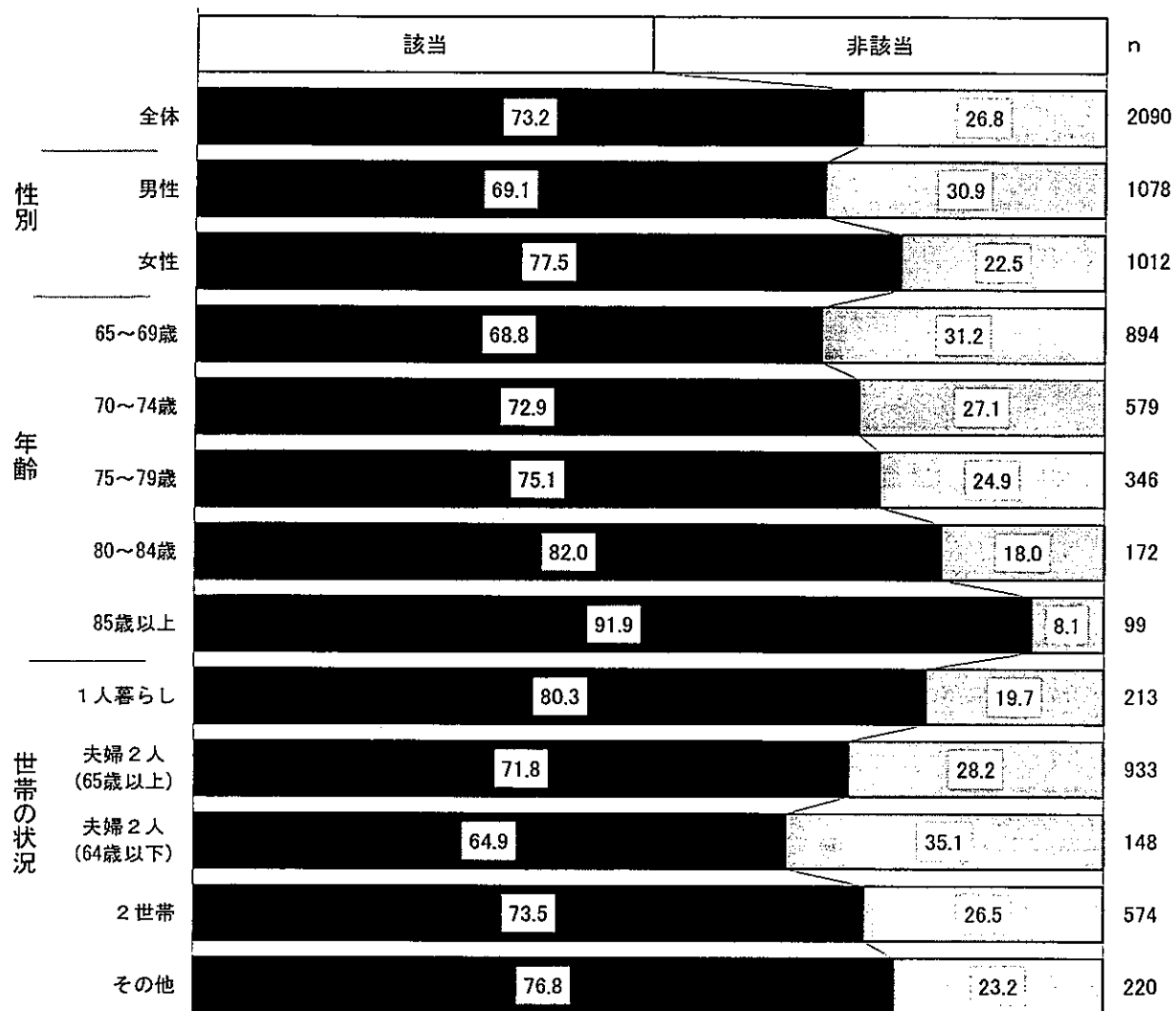


大井沢地区全体では、「該当」の人が73.3%となっています。

各属性ごとに見ると、世帯の状況では、1人暮らしが市と比べ18.6ポイント低くなっている一方、息子・娘との2世帯では市と比べ7.7ポイント高くなっています。

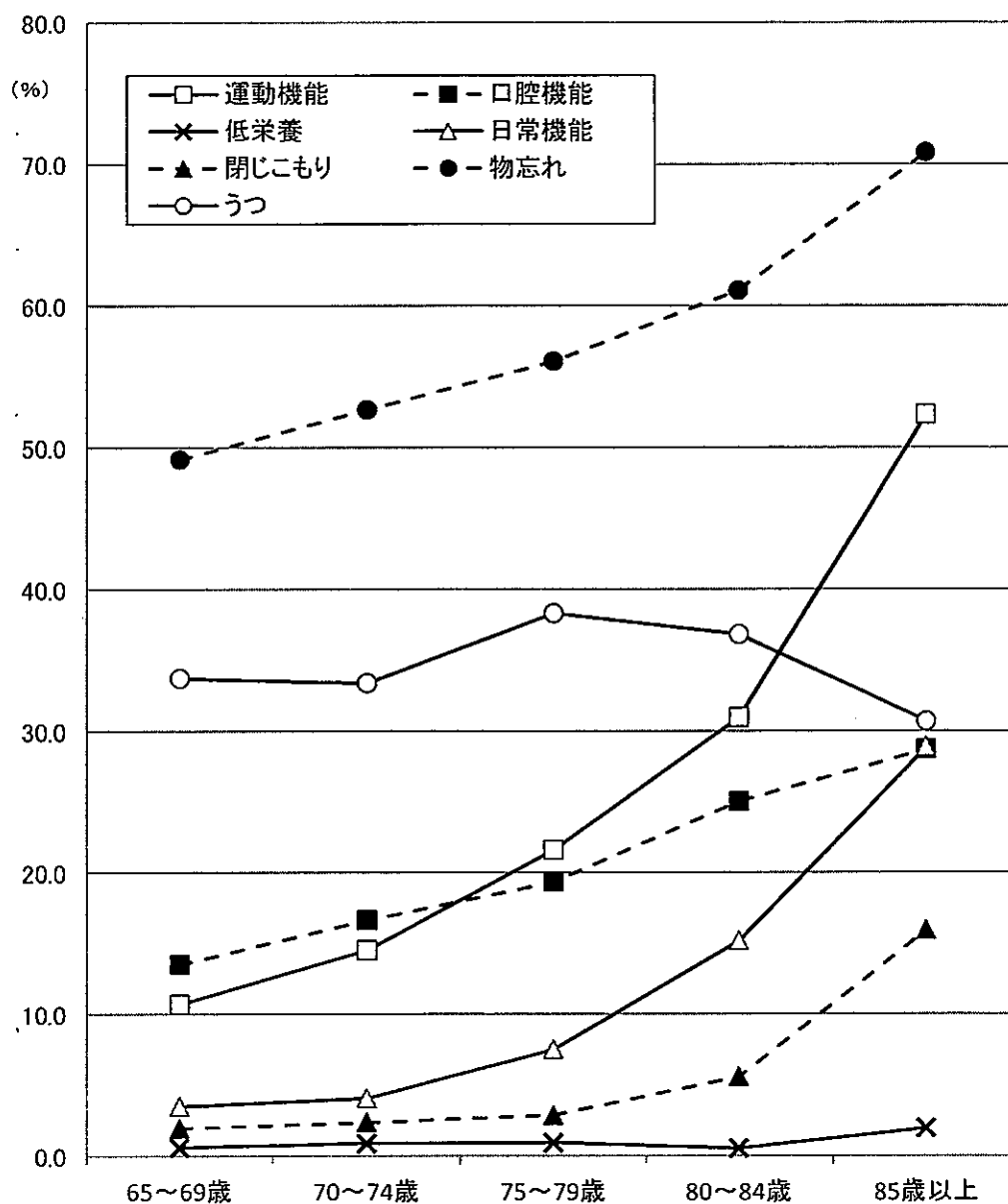
⑥北守谷地区

単位：%



北守谷地区全体では、「該当」の人が73.2%となっています。
各属性ごとに見ると、どの属性も市の結果と近い値となっています。

(3) 年齢別に見たリスク



上のグラフは、年齢別に見た各リスクの該当者の割合を示したものです。

これを見ると、物忘れリスク (●) やうつリスク (○) に関しては 65~69 歳の早い段階からリスクがある人が一定層見られることから、前期高齢期からの積極的な対応が求められていることが分かります。

運動機能リスク (□) や日常機能リスク (△) については加齢とともに急激にリスク該当者が増加することが分かります。継続的な対応でこれを予防する必要があります。

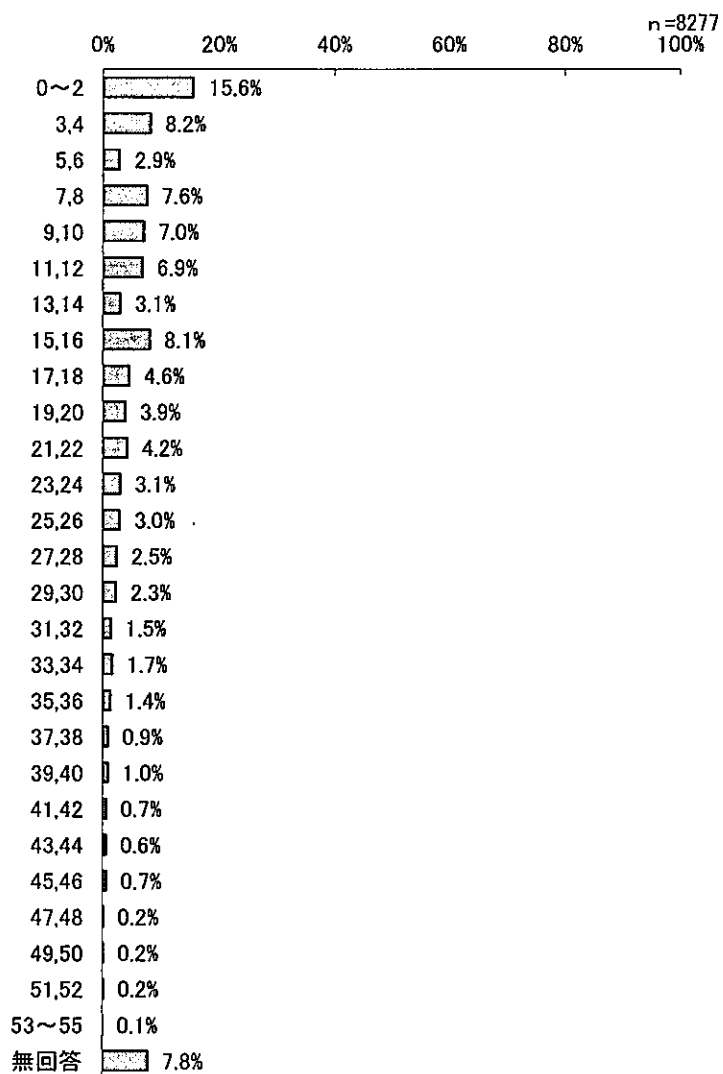
4. 要支援・要介護リスク評価尺度による分析

「要支援・要介護リスク評価尺度」とは、以下の設問の回答状況と、年齢・性別を点数化し、そのリスクを点数としてみるものです。

◇該当条件

問番号	設問	回答状況	点数
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	3
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	1
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	2
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	5
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	3
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「2. できるけどしていない」または「3. できない」に該当	3
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」または「2. 1度ある」に該当	3
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」に該当	3
問3(1)	身長・体重	BMI値が18.5未満	3
問2(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または「2. 減っている」に該当	3
年齢・性別			
65～69歳			0
70～74歳			8
75～79歳			15
80～84歳			21
85歳以上			25
女性			1

◇回答者全体の結果



全体の結果としては、0～2点の方が15.6%で最も高くなっています。10点以下の方は全体の41.4%、11～20点の方は全体の26.5%、21～30点の方は全体の15.1%、31～40点の方は全体の6.5%、41点以上の方は全体の2.6%です。

5. 老研式活動能力指標

老研式活動能力指標（通称「老研指標」）は、高齢者の生活機能を「手段的自立（IADL）」、「知的能動性」、「社会的役割」の3分野から評価を行うものです。

①手段的自立（IADL）

設 問	回答状況
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方は1点
日用品の買物をしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方は1点
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方は1点
請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方は1点
預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方は1点

②知的能動性

設 問	配点
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」と回答した方は1点
新聞を読んでいますか	「はい」と回答した方は1点
本や雑誌を読んでいますか	「はい」と回答した方は1点
健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」と回答した方は1点

③社会的役割

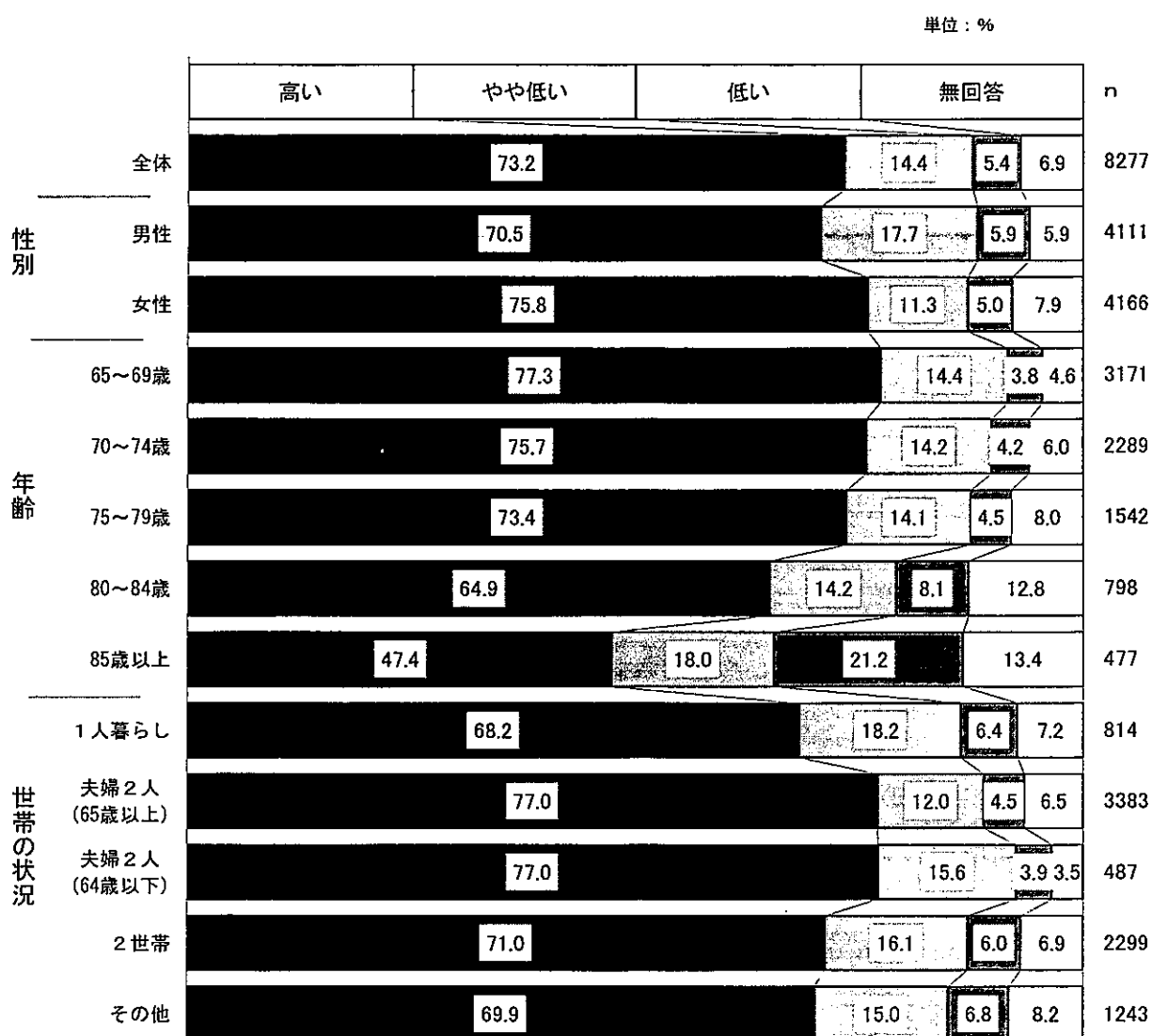
設 問	配点
友人の家を訪ねていますか	「はい」と回答した方は1点
家族や友人の相談にのっていますか	「はい」と回答した方は1点
病人を見舞うことができますか	「はい」と回答した方は1点
若い人に自分から話しかけることがありますか	「はい」と回答した方は1点

④老研指標総合評価

①～③で導いた各評価の合計点から、総合評価として以下のように判定します。

【評価方法】⇒3分野13問の合計が11点以上「高い」、9～10点「やや低い」、8点以下「低い」

◇回答者全体と主な属性別の判定結果



市全体では老研指標総合評価が高い人は73.2%となっています。

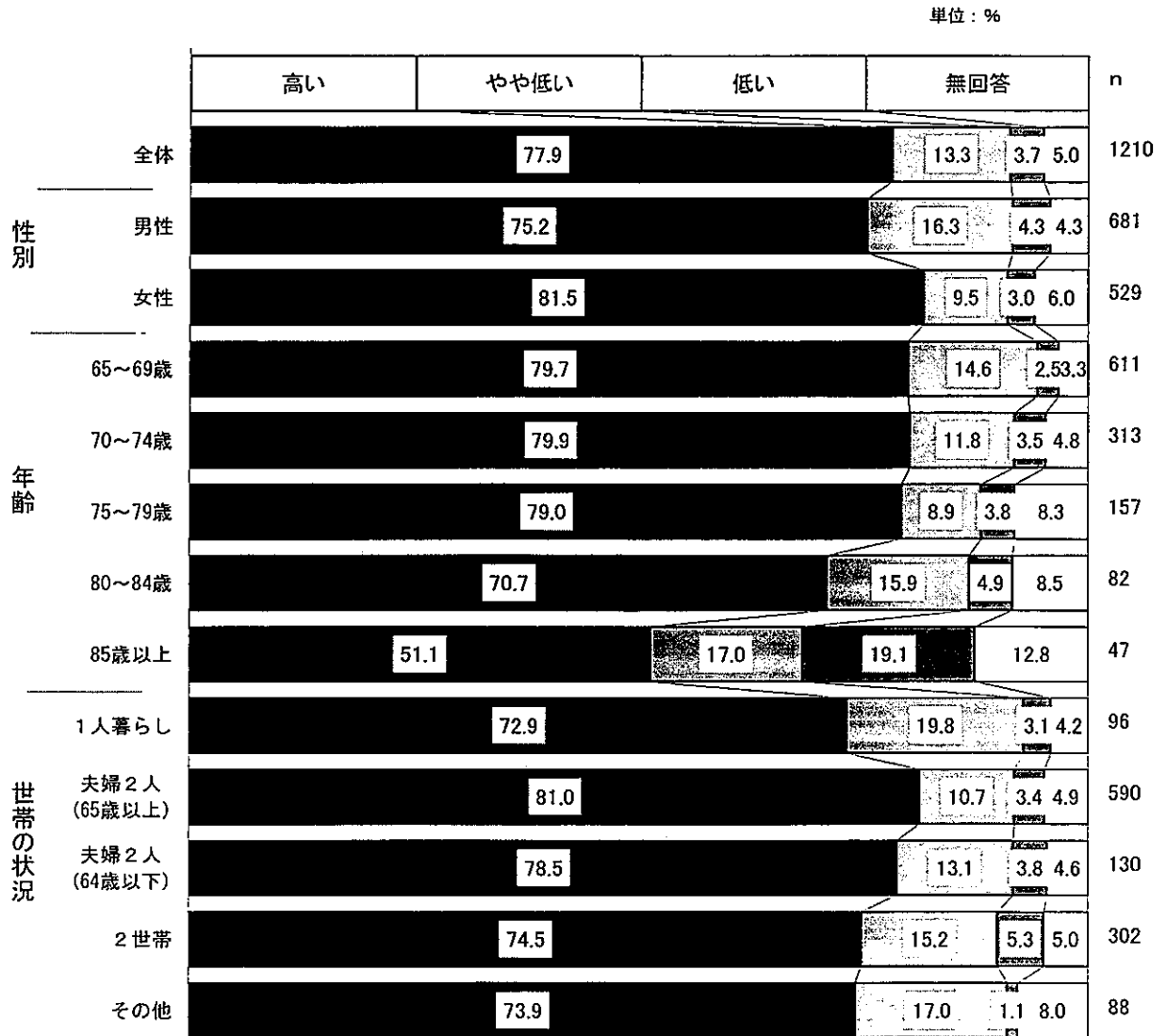
性別で見ると、女性が男性を5.3ポイント上回っています。

年齢で見ると、年代が上がるにつれて高い人の割合が減少し、一方で低い人の割合が増加する傾向が見られ、85歳以上では高い人が64.9%、低い人が21.2%となっています。

世帯の状況では、1人暮らしで高い人が68.2%と全体より低くなっています。

◇各日常生活圏域別の全体と主な属性別の判定結果

①みずき野地区



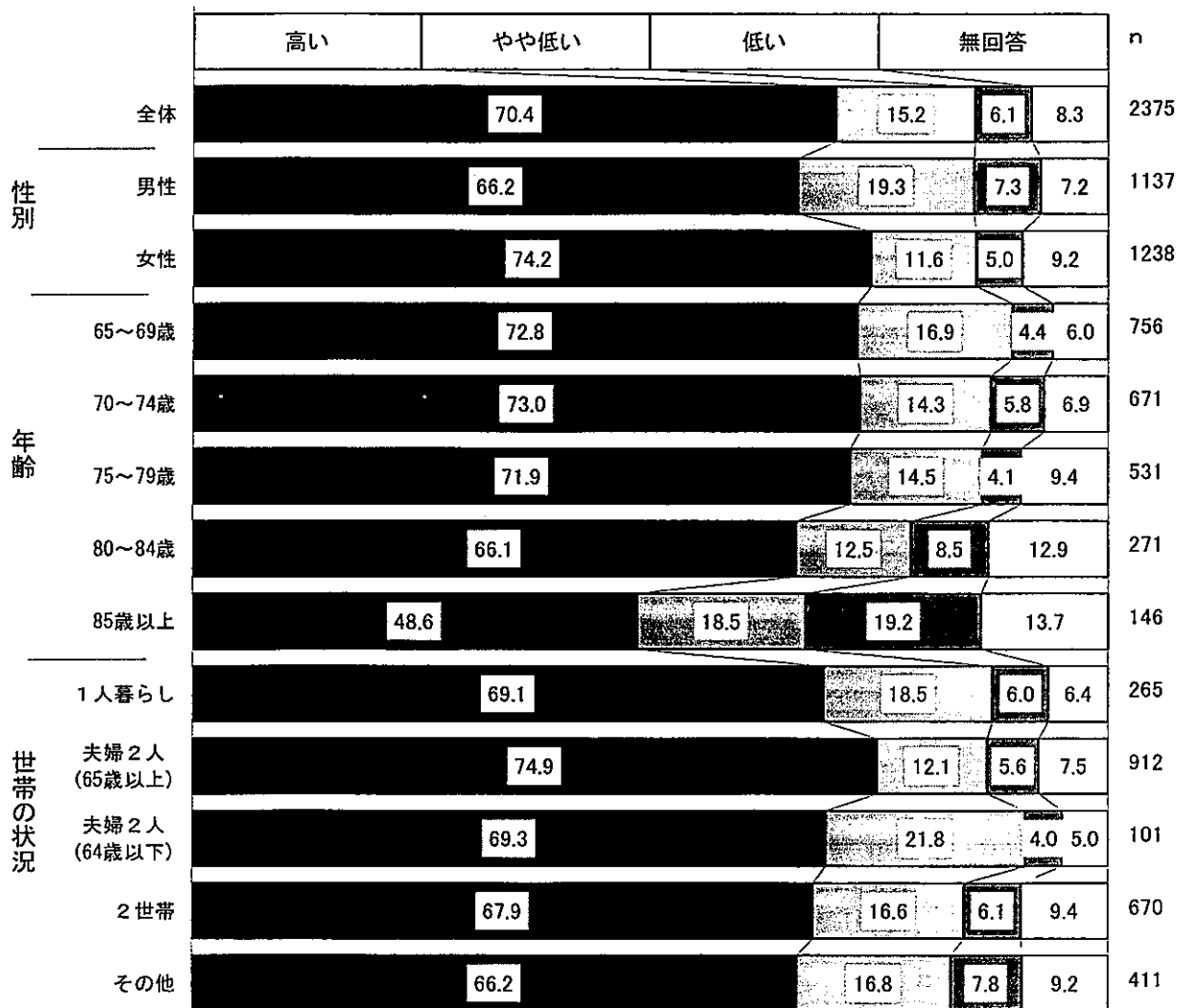
みずき野地区全体では、「高い」人が77.9%となっています。

各属性ごとに見ると、性別では、女性で「高い」人は市と比べて5.6ポイント高くなっています。

年齢では、75～79歳で「高い」人は市と比べ5.6ポイント、80～84歳以上では5.8ポイントそれぞれ高くなっています。

②守谷地区

単位：%

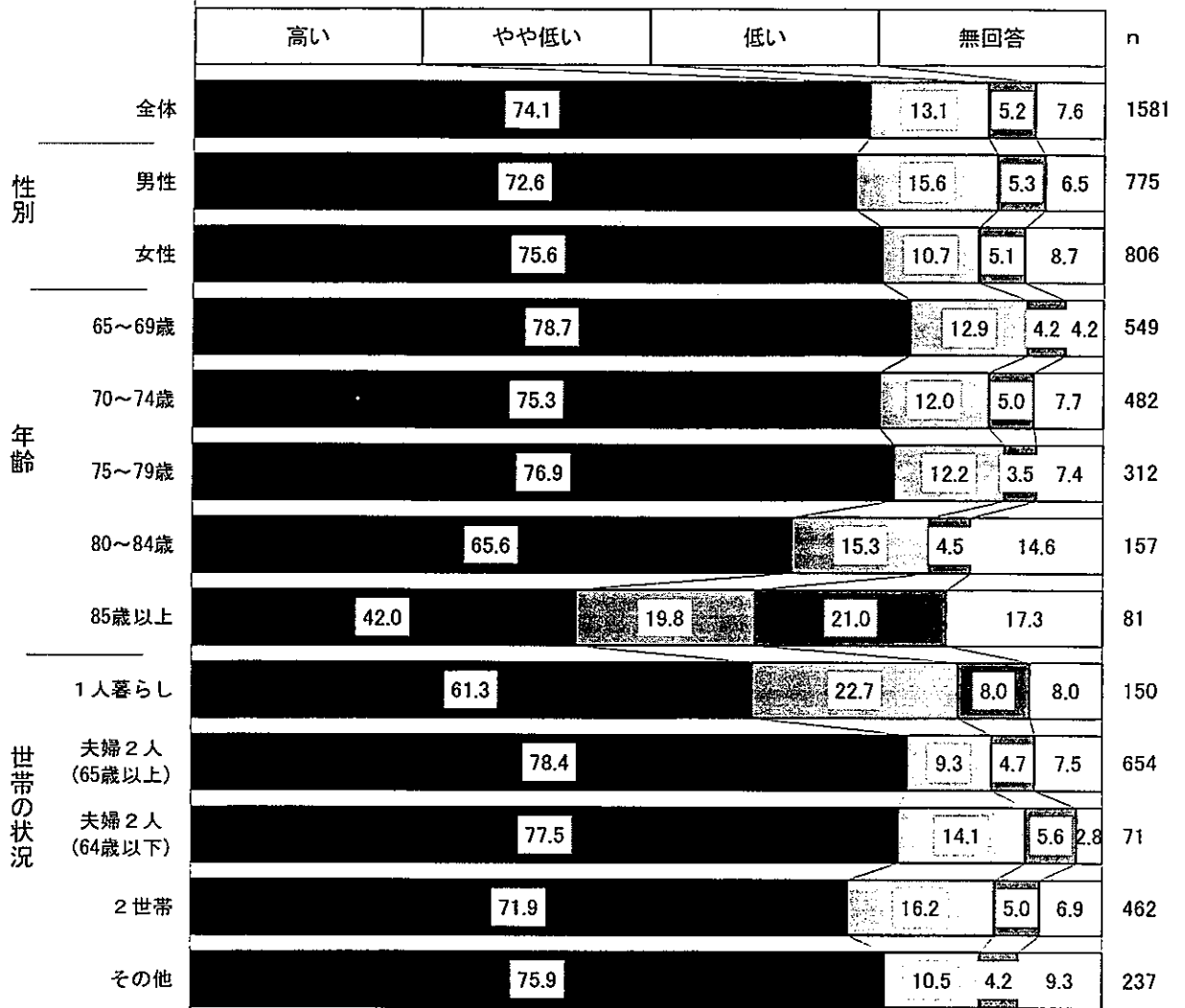


守谷地区全体では、「高い」人が70.4%となっています。

各属性ごとに見ると、世帯の状況で夫婦2人(配偶者64歳以下)で「高い」人が、市と比べ7.7ポイント低くなっています。

③高野地区

単位：%



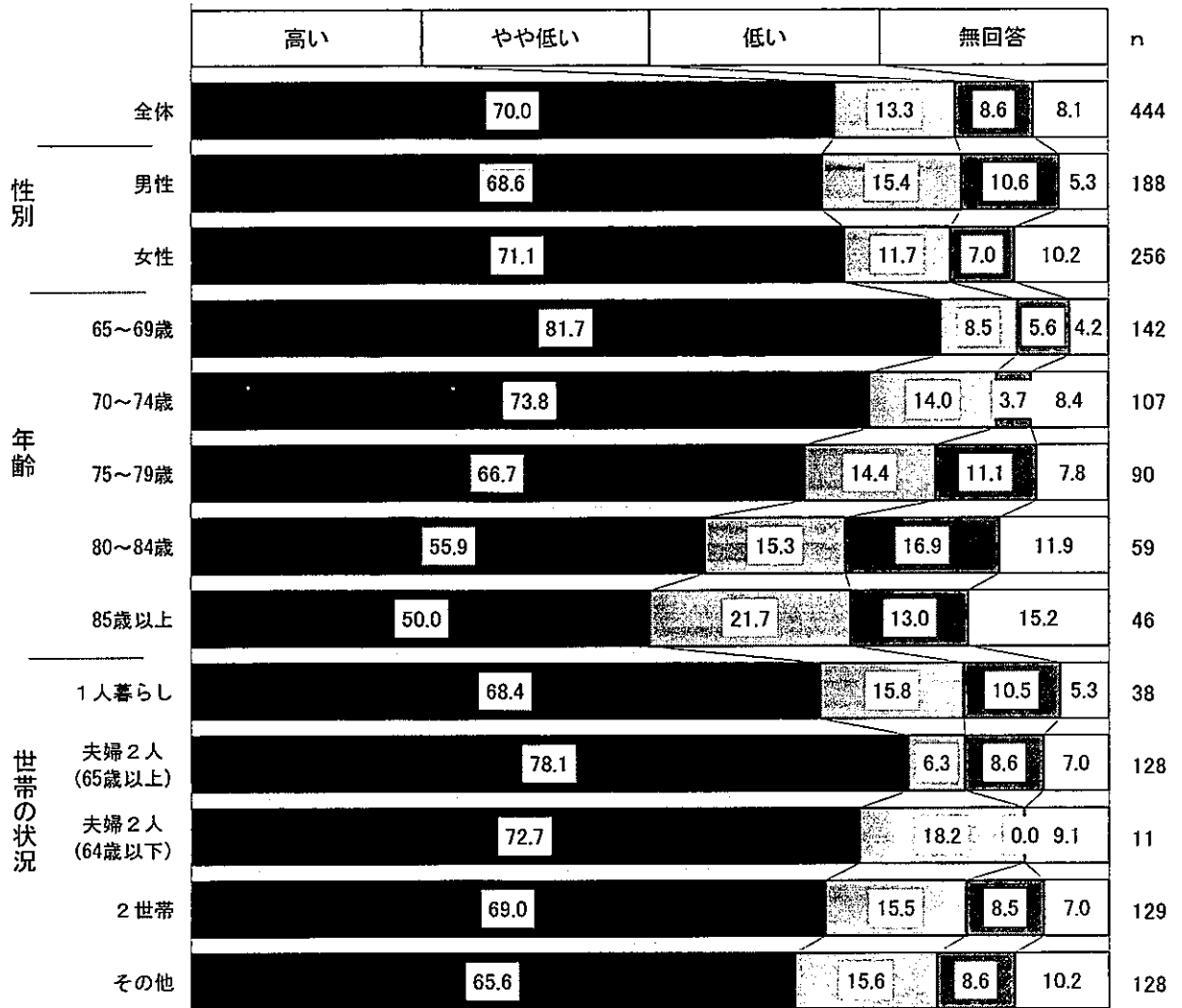
高野地区全体では、「高い」人が74.1%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では85歳以上で「高い」人は5.4ポイント低くなっています。

世帯の状況では、1人暮らしの方で「高い」人は6.8ポイント低くなっています。

④大野地区

単位：%

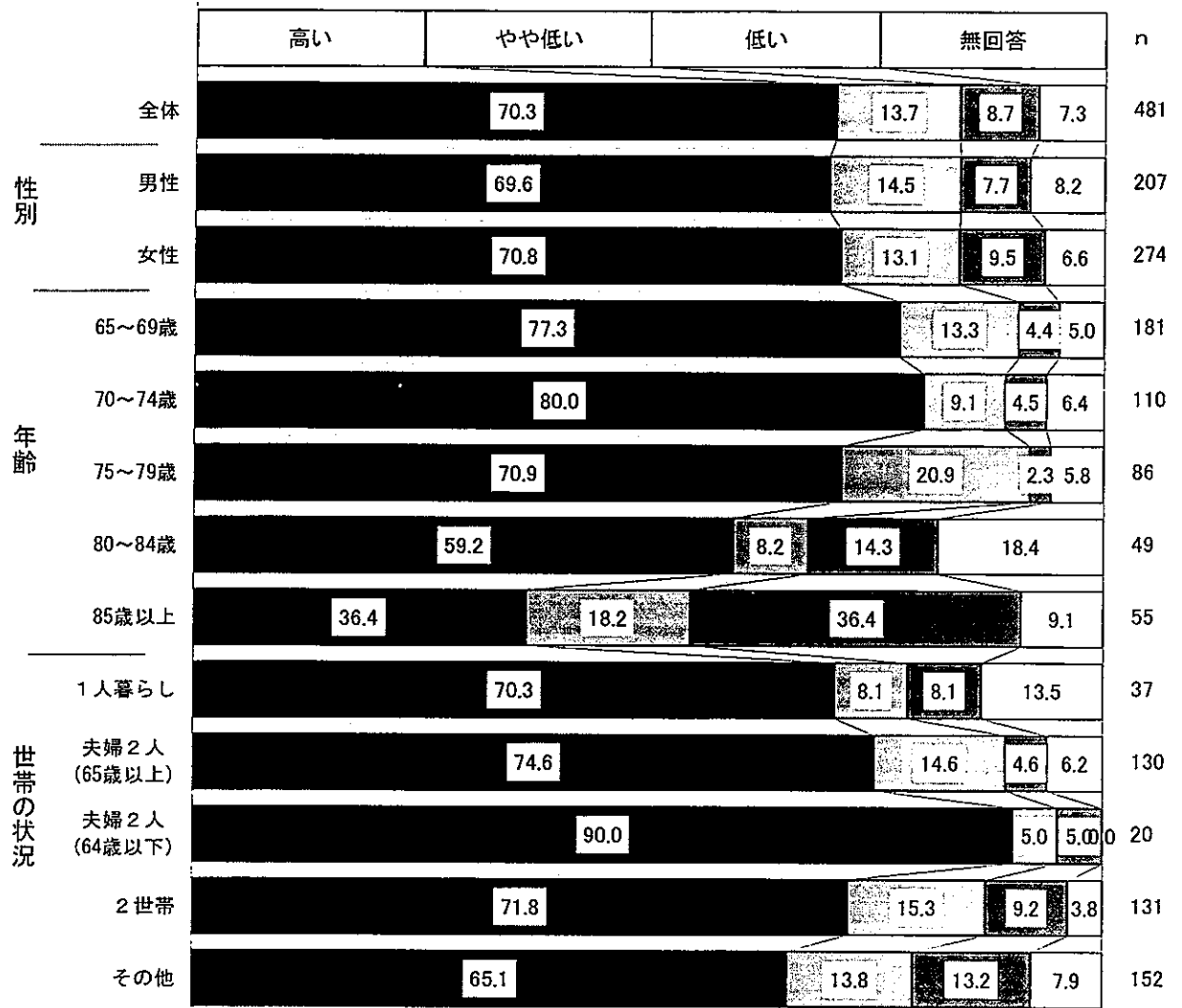


大野地区全体では、「高い」人が70.0%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では75～79歳で「高い」人は市と比べ6.7ポイント、80～84歳では9.0ポイント、それぞれ低くなっています。

⑤大井沢地区

単位：%



大井沢地区全体では、「高い」人は70.3%となっています。

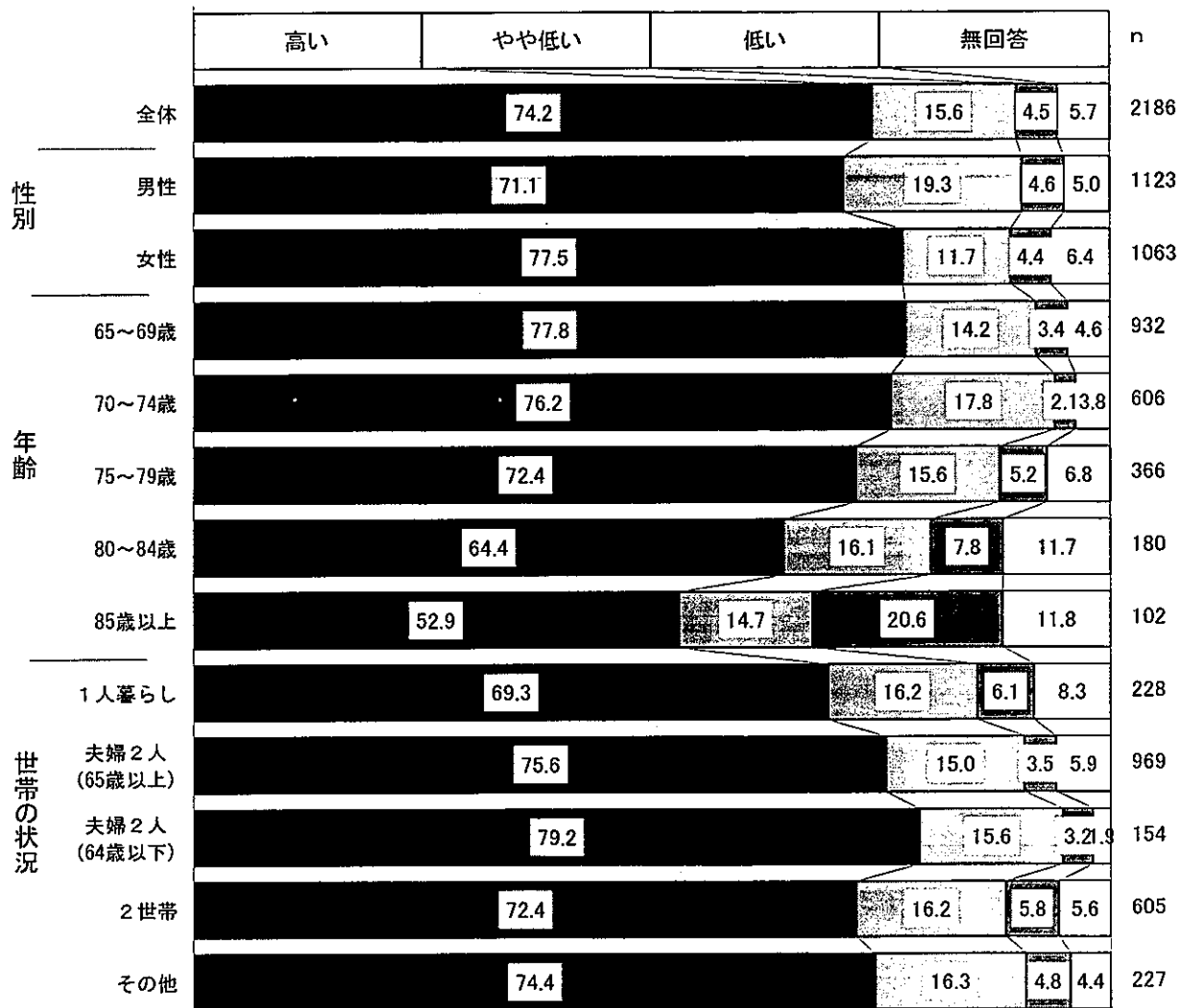
各属性ごとに見ると、性別では女性で「高い」人は市と比べ5.0ポイント低くなっています。

年齢では、85歳以上で「高い」人は市と比べ11.0ポイント低くなっています。

世帯の状況では、夫婦2人（配偶者64歳以下）では、市と比べ13.0ポイント高くなっています。

⑥北守谷地区

単位：%



北守谷地区全体では、「高い」人は74.2%となっています。

各属性ごとに見ると、年齢では85歳以上で「高い」人は市と比べ5.6ポイント高くなっています。

守谷市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査結果報告書

発行日 平成 29 年 9 月

発 行 守谷市 保健福祉部 介護福祉課

〒302-0198 茨城県守谷市大柏 950 番地の 1

TEL : 0297-45-1111 (代表)

FAX : 0297-45-6527

